

JP54151236U

Publication number: JP54151236U

Publication date: 1979-10-20

Inventor:

Applicant:

Classification:

- international: *H04R9/02; D03D3/00; D03D3/08; H04R9/04; H04R9/06;
H04R9/00; D03D3/00; (IPC1-7): H04R9/02; H04R9/04;
H04R9/06*

- european:

Application number: JP19780048068U 19780411

Priority number(s): JP19780048068U 19780411

Report a data error here

Abstract not available for JP54151236U

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

⑫ 実用新案公報 (Y 2) 昭57-45755

⑬ Int.Cl.³ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公告 昭和57年(1982)10月8日
H 04 R 9/02 103 6433-5 D
D 03 D 3/00 7425-4 L
H 04 R 9/04 102 6433-5 D
9/06
(全3頁)

1

2

⑮ スピーカー

⑯ 実 願 昭 53-48068

⑰ 出 願 昭 53(1978) 4月11日

⑱ 公 開 昭 54-151236

⑲ 昭 54(1979) 10月20日

⑳ 考 案 者 大塚誠一

寝屋川市日新町2番1号オンキョー株式会社内

㉑ 出 願 人 オンキョー株式会社

寝屋川市日新町2番1号

㉒ 代 理 人 弁理士 佐当弥太郎

㉓ 実用新案登録請求の範囲

互いに絶縁された渦巻状に配置した縦線7aと放射状に配置した横線7bよりなる金属布を素材として同心状コルゲーション8を形成したダンパー7でボイスコイル3を支持するとともに、その内周部において2本のボイスコイル巻端線1を前記縦線7a及び横線7bにそれぞれ接続し、かつ絶縁スペーサー11を介して固定した外周部において、前記縦線7a及び横線7bをスピーカー端子2に電気接続してなることを特徴とするスピーカー。

考案の詳細な説明

この考案はスピーカーのダンパーの改良に関しダンパー自体に導電性を保有せしめてボイスコイルリードの引出しを簡略せしめることを目的とするものである。

従来のスピーカーにおけるボイスコイルリード線とスピーカー端子の接続構造を第1図について説明すると、ボイスコイル3の上端より導出したボイスコイル巻端線1をコーン紙4内面に沿わせコーン紙4中腹部に設けたヘット5部分において錦糸線6と半田付し、当該錦糸線6をスピーカー端子2に接続することによつて、スピーカー端子2とボイスコイル3を電気接続していた。

このような構造によると、各接続部分の取付が煩瑣な上に錦糸線6がコーン紙4の振動にともなつて振られるので特に半田付部分において断線しやすい欠点を有する。

5 又このような欠点を解決するために、錦糸線等の導体を布ダーバーの径方向に縫いこみリード線として使用した構造、あるいはダンパーの表面に導体箔を接着した構造等が考案されているが、ダンパーのステイフネスが部分的に異なり振動様態が不均一となつて異状振動を発生しやすく、又接着した構造においては振動により剥離しやすい欠点を有していた。

この考案は従来の上記ダンパーの欠点を解決するために、ダンパーに素材として金属線を織つた金属布を使用するとともに、織り目を形成する縦線及び横線のうちいずれか一方に絶縁金属線を使用することによつて、2回路の電気導電経路を形成し、もつてダンパー自体をリード線として使用したものであり以下第2図以下に示す実施例について更に詳しく説明する。

図において7はコイルボbinを支持するダンパーであり、渦巻状に配置した縦線7a及び放射状に配置した横線7bはそれぞれ金属線等の導体線よりなり、いずれか一方の導体線は絶縁皮膜が施され縦線及び横線は互いに電気的に絶縁されている。

このような金属布を素材とし同心状コルゲーション8を設け、その内周9にコイルボbin10を外周10を絶縁スペーサー11を介してフレームあるいはプレート12に固定する。

又当該ダンパー7の内周部においてボイスコイル3の2本の巻端線1がそれぞれ縦線7a及び横線7bにそれぞれ接続され、又外周部においてスピーカー端子2と前記縦線7a及び横線7bがそれぞれ電気接続されている。

しかして、ボイスコイル3の巻端線1はダーバー7を構成する縦線7a及び横線7bによりスピー

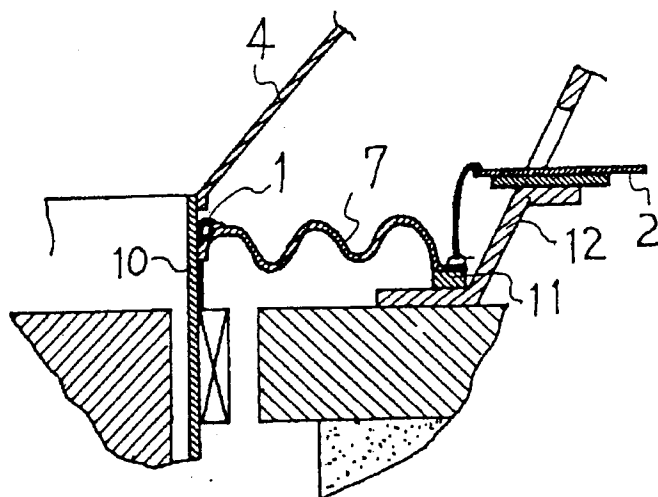


図4